

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

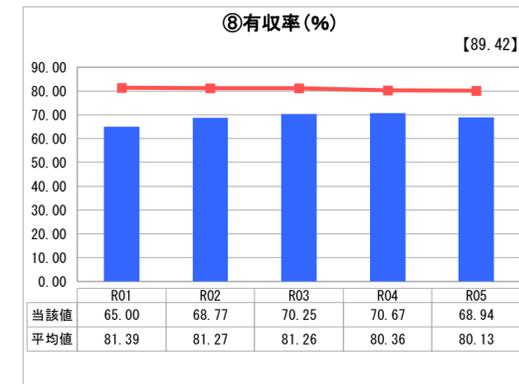
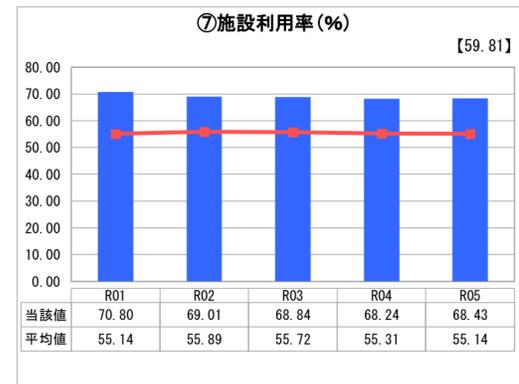
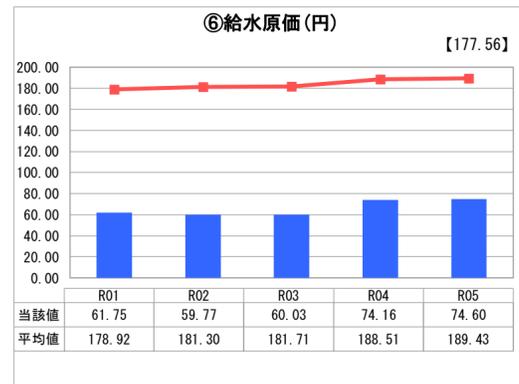
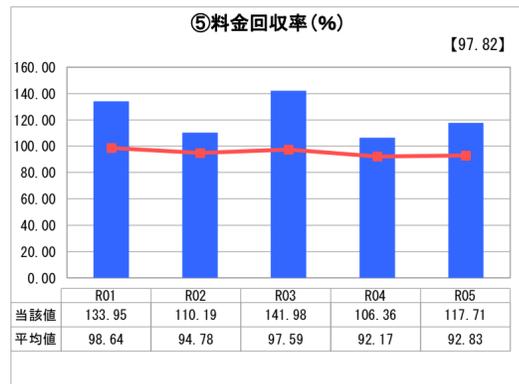
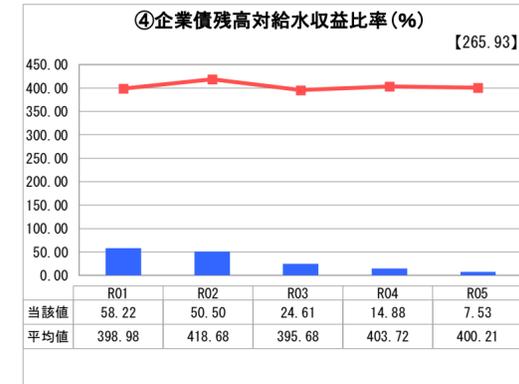
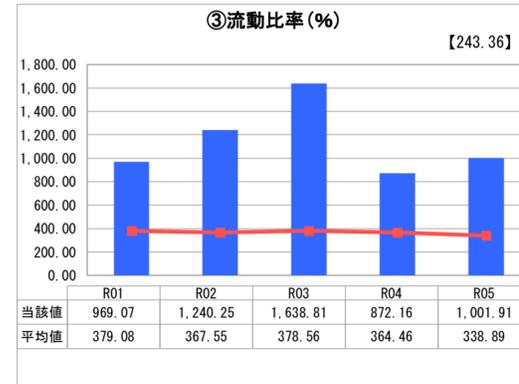
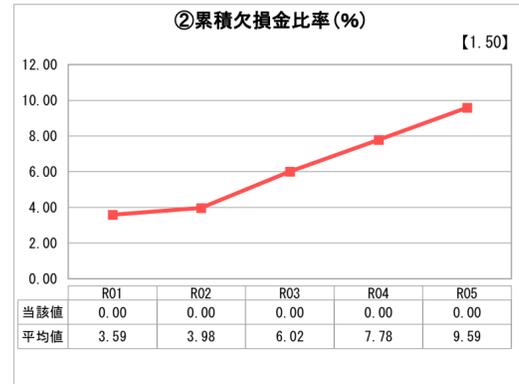
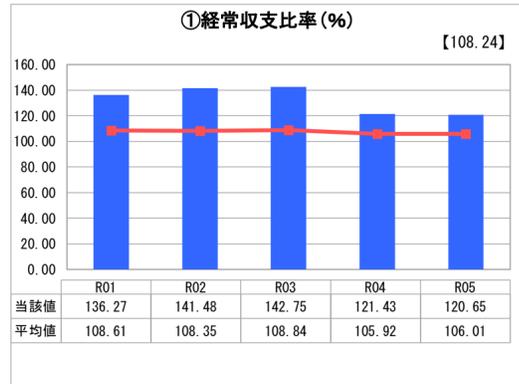
岐阜県 北方町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	96.08	95.69	1,727	

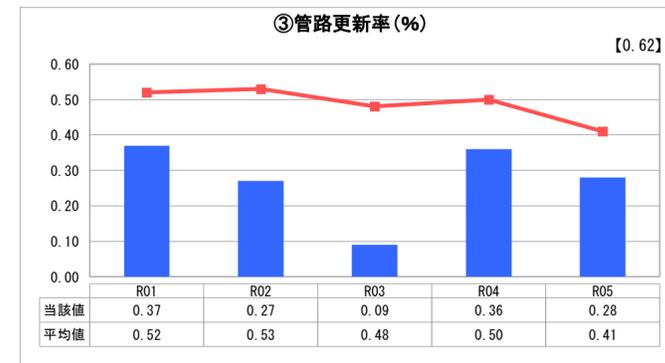
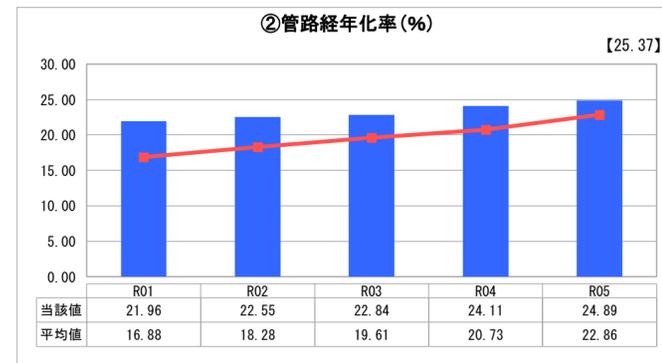
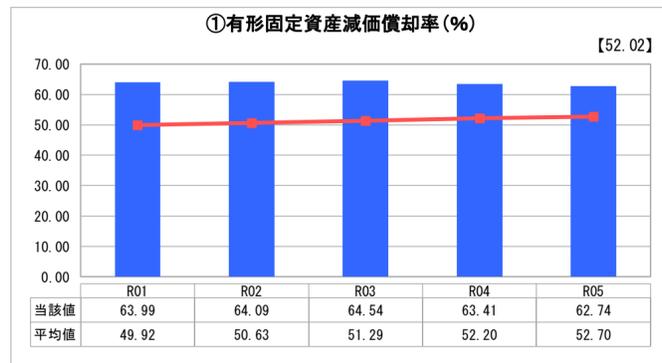
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,697	5.18	3,609.46
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,774	5.17	3,437.91

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

水源として地下水を使用しているため、給水原価は低く抑えられているが、有収水量が減少し、設備の老朽化に伴い、修繕費等の経費が増えたため、前年よりも上昇している。

料金回収率は、前年に比べて、大きく増加しているが、これは、前年度に新型コロナウイルス感染症対策に伴う使用料の減免を行ったためであり、前々年度と比較すると大きく減少している。

企業債は新たな借入れがなく、間もなく償還を終えるため、企業債残高対給水収益比率は全国平均を大きく下回っているが、今後設備の耐震化等で、大規模な更新が見込まれるため、新たに借入をしながら、必要な更新を進めていく必要があると思われる。

経営の健全性について、現在はまだ収支は黒字で債務に係る支払能力も十分と考えられるが、このまま有収水量が減少し、給水原価が今後も増加していくと、赤字に転じる可能性もある。

### 2. 老朽化の状況について

本町の水源は、昭和50年の供用開始から50年近く経過し、老朽化が進んでいる。全面改築には莫大な経費がかかるため、部分的な修繕や設備の更新によって、長寿命化を図っている。

管路については、管路経年化率が年々上昇しており、老朽化が進んでいると思われる。有収率は漏水調査を実施したことにより年々改善していたが、今年度は減少してしまったため、更なる漏水対策を講じる必要がある。

現在、基幹管路の耐震化を優先的に進めている。

### 全体総括

現在の経営状況はまだ、収支が黒字で、概ね健全と思われるが、有収水量が減少傾向になり、今後人口減少に伴い、収益も減少する見込みである。一方で、施設の老朽化に伴い更新需要が増加することから、経営環境はさらに厳しさを増すことが予想されるため、中長期的な経営の基本となる計画を立て、料金改定も見据えながら、経営の効率化、健全化に取り組む。